

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	妊婦における周産期管理についての検討
研究責任者	名古屋大学医学部附属病院 産婦人科 講師 小谷友美
研究事務局 (問い合わせ先)	名古屋大学医学部産婦人科 小谷友美 名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2261
研究の意義・目的	妊産婦さんの管理法は年々変化し進歩しています。この研究の意義と目的は、症例を蓄積しデータを収集検討することで、現行の標準的管理法の適応基準や管理法が妥当かについて検証を行うことです。
対象となる患者さん	当院にて周産期管理を受けた妊産婦さん(妊娠中に当院で外来妊婦検診をうけたり、入院して治療をうけたり当院で出産された方)。
研究方法	カルテ記載より、 年齢、既往歴、家族歴、妊娠回数、分娩回数、産科合併症、妊娠中の投与薬剤、分娩様式、分娩時出血量、陣痛誘発剤の使用、輸血、子宮摘出術、出生児体重、出生児の性別、出生児の Apgar Score, 臍帯血ガスなどの臨床情報および、血液検査結果(血算、生化など)、クラミジア、B群溶連鎖球菌などの感染症検査、膿培養検査、超音波検査などの検査結果、胎盤などの病理組織検査結果 これらの情報を集めてデータベースを構築します。得られた情報を解析して、現行の標準管理法が妥当かについて検証を行います。 妊産婦さんへの新たな負担や侵襲はありません。匿名化処理を行い、誰のデータか分からないようにして、統計解析を行います。その結果は産婦人科に関連する学会や医学雑誌に公表されることがあります。
研究期間	承認日より約 10 年間